

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たいい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 9月15日(金) 発行人: 校長 森内 秀学

「しかけ」が「たいい」を動かす

時津小にあふれてきた「やりたい」という思い…。下は、高学年の子どもが作った、1階渡り廊下の近くにある、委員会活動用の掲示板です。この写真では字が小さすぎて見えないと思いますが、雰囲気から、



様々な思いがあふれているのが伝わってくるのではないのでしょうか。

2学期は、いかにしてこうした「思い」を「行動」につなげていくかがカギだとお伝えしていました。

始まって2週間余り。早速面白い取組が始まっています。ご紹介しましょう。

左下の、静かに廊下を歩いている子どもたちの写真。頭の上には、「だいすきどおり」というプラカードが下がっています。



そうです。ここはこのほどオープンした「だいすきどおり」。1年生の前の、あいさつが飛び交う、静かで長い廊下です。教室からトイレや下足箱までは遠いので、つい走ってしまいます。そこを、正しく歩き、あいさつが飛び交う場所にしたい！では、どうすればよいか…。

1年生担任が考えた「しかけ」がこれなのです。

しかけは、これだけではありません。右は、それができた時にシールを貼っていく「たいい」の台紙。できればできるだけ、体がうろこで飾られていきます。

人の心は弱いものです。多くの場合、「思い」は「思い」に留まり、「行動」に移せません。でも、行動に移せたという成功体験を重ねたら、強い実践力が身に付いていくのではないかな…。学校にある様々な「しかけ」には、子どもの将来を見通した、深い教育的意図が込められています。

